

庄内川流域委員会準備委員会

規 約

（名称）

第1条 本会は、「庄内川流域委員会準備委員会」（以下「準備委員会」という。）という。

（目的）

第2条 準備委員会は、国土交通省中部地方整備局長（以下「局長」という。）による委嘱を受け、庄内川流域委員会（以下「委員会」という。）及び庄内川地域懇談会（以下「懇談会」という。）のあり方について審議を行い、提言を行うものとする。

（設置）

第3条 準備委員会は、局長が設置する。

（役割）

第4条 準備委員会は、委員会及び懇談会の設置にあたり、その委員等の選定及び運営方針について局長に提言を行う。

（組織等）

第5条 準備委員会の委員は、局長が委嘱する。

委員の任期は6ヶ月とする。ただし、提言が任期中に行われた場合においてはその時点をもって任期を終了する。

（情報公開）

第6条 準備委員会の議事内容及び準備委員会資料の公開方法については、準備委員会でこれを定める。

（会議）

第7条 準備委員会には、座長を置くこととし、委員の互選によってこれを定める。

2．座長は会務を総括し、準備委員会を代表する。

3．座長は準備委員会を招集する。

4．準備委員会はその運営に関し、運営方針を定める。

（庶務）

第8条 準備委員会の庶務は、国土交通省中部地方整備局庄内川工事事務所が行うものとし、準備委員会の指示により、以下に示す庶務をとり行う。

- ・会議資料の作成
- ・議事録の作成
- ・会議内容のとりまとめ及び公表資料案の作成 等

（規約の改正）

第9条 本規約の改正は、全委員総数の過半数の同意をもってこれを行うものとする。

（雑則）

第10条 本規約に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、準備委員会において定める。

付則

（施行期日）

この規約は、平成14年9月24日から施行する。

(別紙)

庄内川流域委員会準備委員会 委員名簿

名古屋生活科学研究所 所長

名古屋市立大学 名誉教授

青山光子 氏

(財)名古屋都市センター センター長

岐阜大学 名誉教授

加藤 晃 氏

国立豊田工業高等専門学校 校長

名古屋大学 名誉教授

高木不折 氏

特定非営利活動法人

レスキューストックヤード 常務理事

高原 稔 氏

中日新聞社 論説委員

前田弘司 氏

(五十音順、平成14年9月現在)